

第4 アンケート調査結果の概要

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査概要

計画策定にあたり、65歳以上の高齢者（要支援認定者・事業対象者含む）の方を対象に健康状態や日頃の地域活動、介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況等から、地域の抱える課題を把握するための調査を令和5年度に実施しました。

以下に、健康づくりや介護予防、社会参加、地域での助け合い等の観点から調査結果を整理します。なお、必要に応じて令和2年度に実施した調査（以下、「前回調査」という。）との比較を行っています。

調査名	調査対象	回答数・対象数（回答割合）
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	65歳以上の高齢者 （要介護認定者を除く）	388名 / 600名 （64.7%）

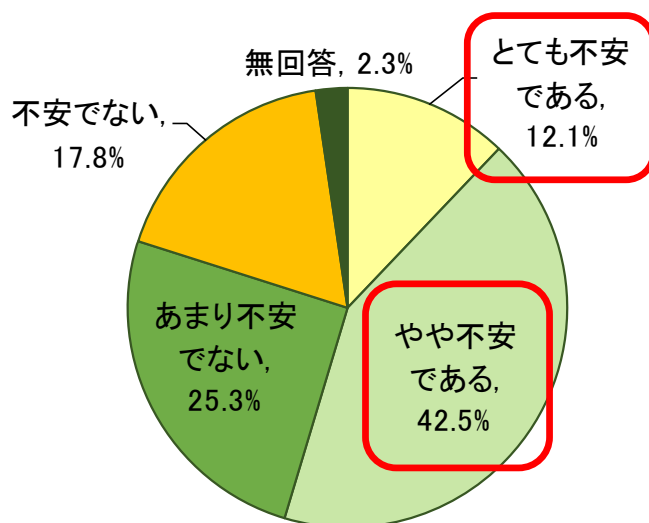
（1）からだを動かすことについて

① 転倒に対する不安

転倒に対する不安では、「とても不安である」と回答した人は12.1%、「やや不安である」と回答した人は42.5%であり、合わせて54.6%が「転倒に対する不安」を示します。

前回調査では、「とても不安である」と回答した人は12.7%、「やや不安である」と回答した人は35.3%であり、合わせて48.0%が「転倒に対する不安」を示し、前回調査に比べ6.6%増加しています。

図表Ⅱ-2-5 転倒に対する不安（n=388）

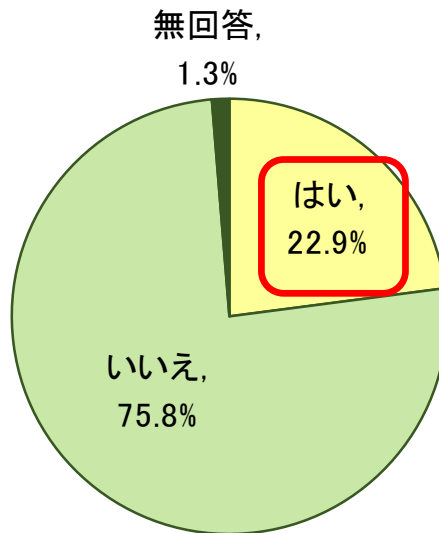


② 外出を控えているか

外出を控えているかについては、75.8%の人が「いいえ」と回答しており、「はい」と回答した人は22.9%となります。

前回調査では新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「はい」と回答した割合が41.2%であり、前回調査に比べ「はい」の割合が18.3%低下しています。

図表Ⅱ-2-8 外出を控えているか (n=388)



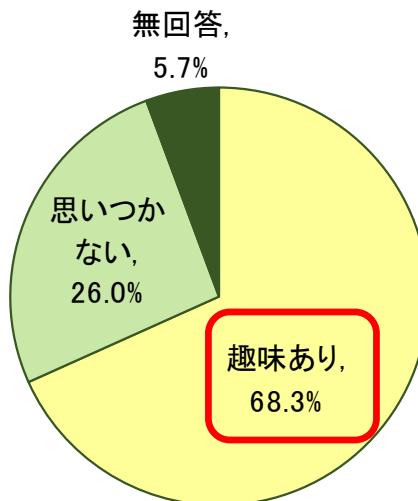
(2) 毎日の生活について

① 趣味の有無

趣味があるかについては、「趣味あり」が68.3%、「思いつかない」が26.0%となります。

前回調査では「趣味あり」の割合が73.4%を示し、前回調査に比べて5.1%減少しています。

図表Ⅱ-4-17 趣味の有無 (n=388)

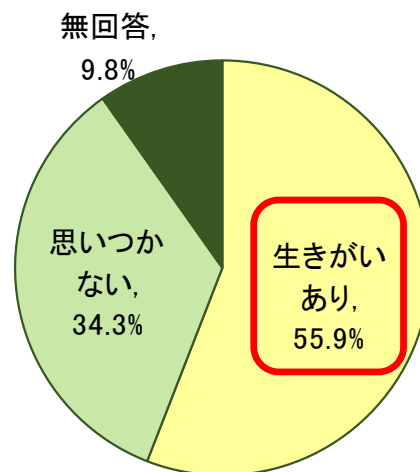


② 生きがいの有無

生きがいについては、「生きがいあり」が55.9%、「思いつかない」が34.3%となります。

前回調査では「生きがいあり」の割合が55.9%を示し、前回調査に比べて3.6%減少しております。

図表Ⅱ-4-19 生きがいの有無 (n=388)



(3) 地域での活動について

① 会・グループ等への参加頻度

以下に示すような会やグループ等にどのくらいの頻度で参加しているかについてみると、「⑦町内会・自治会」、「⑧収入のある仕事」への参加割合が30%台を示すも、他の項目は概ね50%前後の割合を示します。

前回調査と比較し、「⑧収入のある仕事」の割合が0.7%増加していますが、他の項目は参加頻度が低下しており、全体でも3.9%減少しています。

表Ⅱ-5-1 会・グループ等への参加頻度 (n=388 : R5年度、n=417 : R2年度)

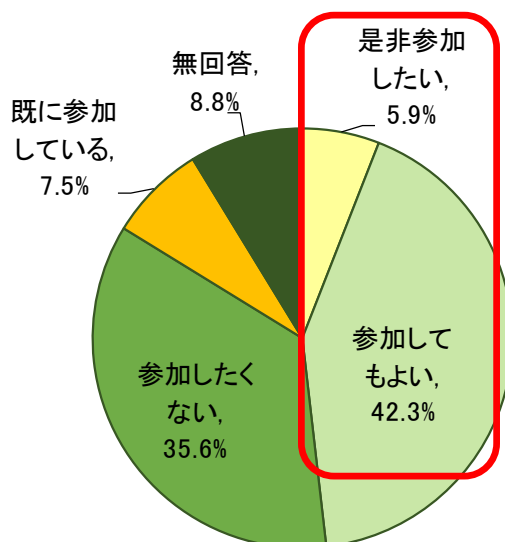
	「参加していない」の割合	
	今回調査 (令和5年度)	前回調査 (令和2年度)
①ボランティアのグループ	53.1%	47.0%
②スポーツ関係のグループやクラブ	50.5%	47.2%
③趣味関係のグループ	48.2%	44.1%
④学習・教養サークル	57.7%	52.0%
⑤いきいき百歳体操、元気教室	53.9%	52.0%
⑥老人クラブ	56.7%	52.8%
⑦町内会・自治会	31.2%	24.2%
⑧収入のある仕事	38.4%	39.1%
平均値	48.7%	44.8%

② 地域づくり活動への参加の意向（参加者として）

地域住民の有志による健康づくりや趣味等の地域づくり活動への参加の意向について、「是非参加したい」が5.9%、「参加してもよい」が42.3%となり、合わせた割合は48.2%となります。

前回調査では「是非参加したい」が6.7%、「参加してもよい」が35.3%であり、合わせた割合も42.0%と、前回調査に比べて6.2%増加しております。

図表Ⅱ-5-2 地域づくり活動への参加の意向（n=388）



性別にみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は、男性で52.6%、女性で44.7%となり、男性の割合が女性と比べて割合は高いです。

年齢別にみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は、65～74歳で51.2%、75～84歳で48.2%となり、若い年代ほど「参加してもよい」の割合が高くなります。

図表Ⅱ-5-3 性別・年齢別地域づくり活動への参加の意向（n=388）

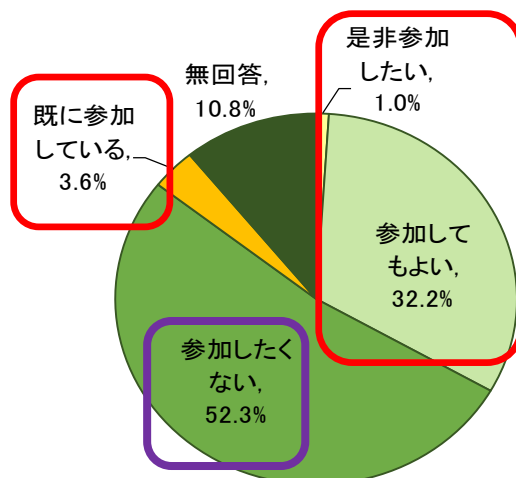
		上段:件数 下段:%					
合計		合計	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
		388	23	164	138	29	34
		100.0%	5.9%	42.3%	35.6%	7.5%	8.8%
性別	男性	169	8	81	60	6	14
		100.0%	4.7%	47.9%	35.5%	3.6%	8.3%
性別	女性	219	15	83	78	23	20
		100.0%	6.8%	37.9%	35.6%	10.5%	9.1%
年齢別	65～74歳	178	9	82	69	11	7
		100.0%	5.1%	46.1%	38.8%	6.2%	3.9%
	75～84歳	164	12	67	53	14	18
	100.0%	7.3%	40.9%	32.3%	8.5%	11.0%	
	85歳以上	46	2	15	16	4	9
	100.0%	4.3%	32.6%	34.8%	8.7%	19.6%	

③ 地域づくり活動への企画・運営の参加の意向（お世話役として）

地域住民の有志による地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加の意向について、「是非参加したい」が1.0%、「参加してもよい」が32.2%、「既に参加している」が3.6%となり、合わせた割合は36.8%となります。また、「参加したくない」が52.3%となります。

前回調査では「是非参加したい」が2.6%、「参加してもよい」が25.2%、「既に参加している」が4.3%であり、合わせた割合も32.1%と、前回調査に比べて4.7%増加しております。「参加したくない」割合も前回調査に比べ、1.7%低下しております。「参加したくない」割合が高値であるも、徐々に「参加意欲群」の割合が増加しております。

図表Ⅱ-5-4 地域づくり活動へ企画・運営（お世話役）としての参加意向（n=388）



性別にみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は、男性で38.5%、女性で29.2%であり、男性の割合が女性と比べて割合は高いです。

年齢別にみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は、65～74歳で34.8%、75～84歳で36.0%となり、30%台の割合を示しております。

図表Ⅱ-5-5 性別・年齢別地域づくり活動へ企画・運営（お世話役）としての参加意向（n=388）

合計		合計	上段:件数 下段:%				
			是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
		388	4	125	203	14	42
		100.0%	1.0%	32.2%	52.3%	3.6%	10.8%
性別	男性	169	4	61	85	6	13
		100.0%	2.4%	36.1%	50.3%	3.6%	7.7%
性別	女性	219	0	64	118	8	29
		100.0%	0.0%	29.2%	53.9%	3.7%	13.2%
年齢別	65～74歳	178	2	60	99	5	12
		100.0%	1.1%	33.7%	55.6%	2.8%	6.7%
	75～84歳	164	2	57	78	7	20
	100.0%	1.2%	34.8%	47.6%	4.3%	12.2%	
	85歳以上	46	0	6	26	2	10
	100.0%	0.0%	17.4%	56.5%	4.3%	21.7%	

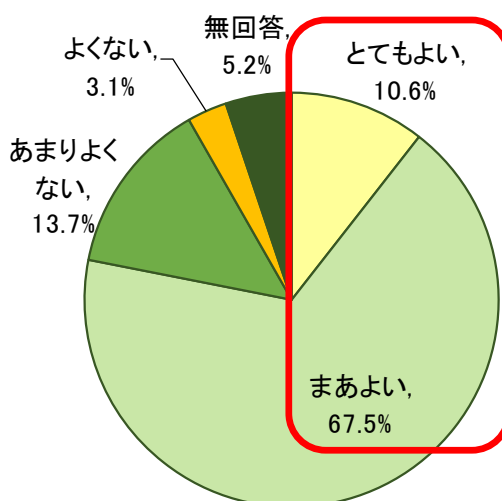
(4) 健康について

① 主観的健康観

現在の健康状態について、「まあよい」が67.5%、「とてもよい」が10.6%となっており、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は78.1%であります。

前回調査では、「まあよい」が65.0%、「とてもよい」が11.0%となっており、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は76.0%であり、前回調査に比べ、2.1%増加しております。

図表Ⅱ-7-1 主観的健康観 (n=388)



② 現在のかかりつけ医について

かかりつけ医を決めている割合は、83.0%と全国平均と近い割合を示しており、年齢が増しても定期受診ができ、医療とのアクセスが良いことがわかります。

上段：件数 下段：%

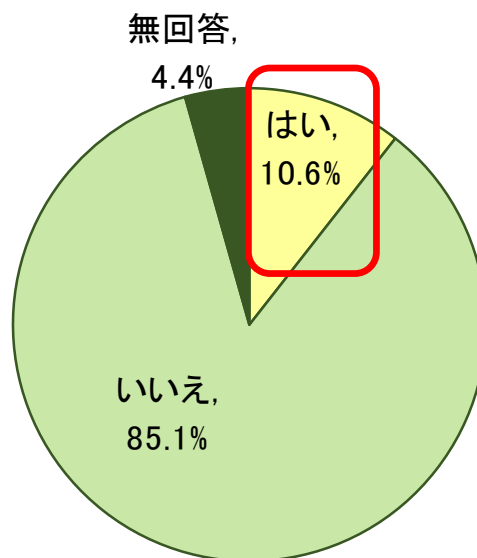
		合計	はい	いいえ	無回答
合計		388 100.0	322 83.0	57 14.7	9 2.3
性別	男性	169 100.0	138 81.7	26 15.4	5 3.0
	女性	219 100.0	184 84.0	31 14.2	4 1.8
年齢	65~74歳	178 100.0	137 77.0	36 20.2	5 2.8
	75~84歳	164 100.0	144 87.8	17 10.4	3 1.8
	85歳以上	46 100.0	41 85.5	4 8.7	1 2.2

(5) 認知症にかかる把握内容について

① 認知症の症状

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が10.6%、「いいえ」が85.1%となります。
前回調査では、「はい」が31.4%であり、21.2%減少しております。

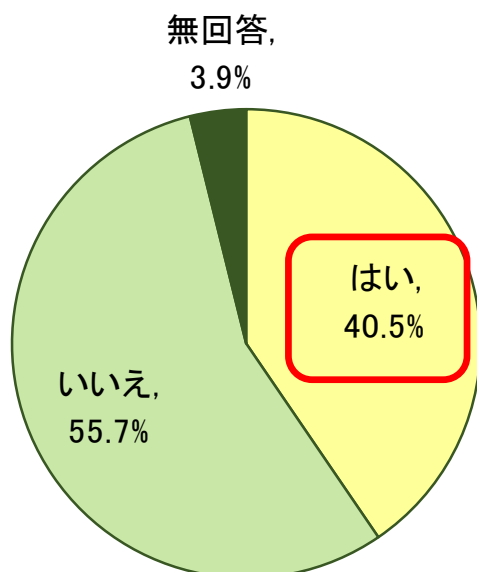
図表Ⅱ-8-1 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるか (n=388)



② 認知症に関する相談窓口

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が40.5%、「いいえ」が55.7%となります。
前回調査では、「はい」が31.4%であり、9.1%増加しております。

図表Ⅱ-8-2 認知症に関する相談窓口を知っているか (n=388)



2. 在宅介護実態調査概要

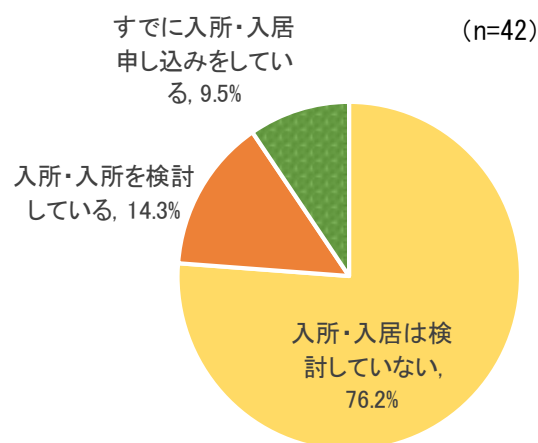
計画策定にあたり、介護保険サービスの利用実態との関係等と「要介護者の在宅生活の継続」と「介護者の就労の継続」を分析し、在宅生活の継続や介護者の就労継続等に資する取組を検討するため、国の示す手法に基づき令和5年度に「在宅介護実態調査」実施しました。

調査名	調査対象	回答数・対象数（回答割合）
在宅介護実態調査	町内で在宅生活をしている 要支援・要介護認定者	42名 / 42名 (100.0%)

(1) 施設等への入所・入居の検討状況

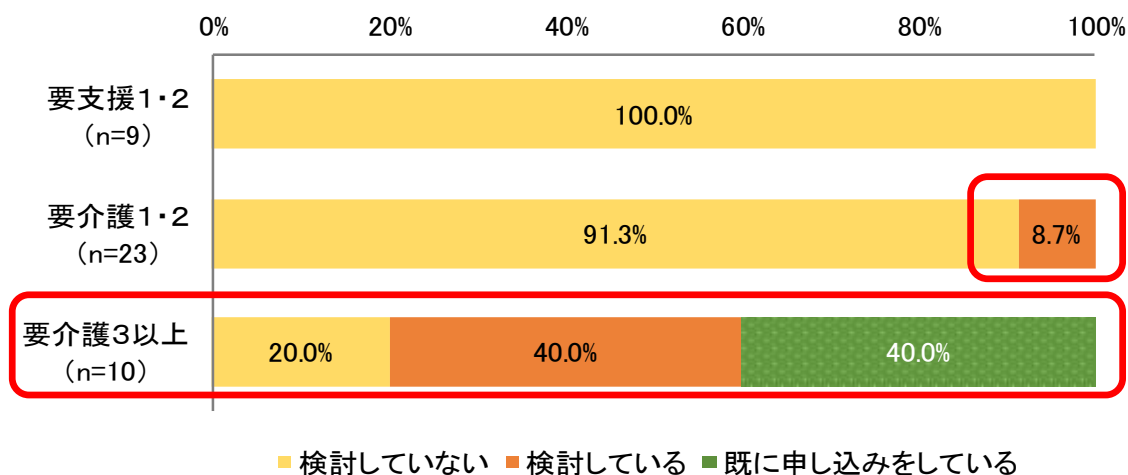
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が76.2%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.3%、「すでに入居・入居申し込みをしている」が9.5%となります。

図表Ⅱ-4-1 施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居の検討状況を二次判定結果（要介護度）別に見ると、「要支援1・2」は「検討していない」が100.0%、「要介護1・2」は91.3%となりますが、「要介護3以上」は、「検討していない」が20.0%、「検討している」「既に申し込みをしている」がともに40.0%となります。

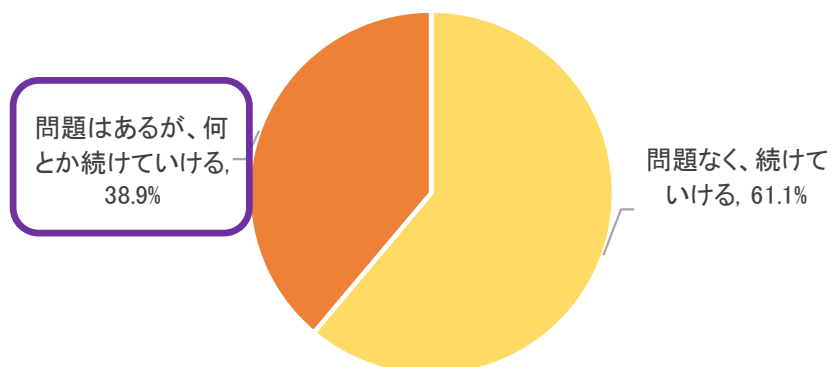
図表Ⅱ-4-2 施設等への入所・入居の検討状況（要介護度別）



(2) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

主な介護者の勤務形態で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した18人に、主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうかの質問について、「問題なく、続けていける」が61.1%、「問題はあるが、なんとか続けていける」が38.9%となります。

図表Ⅲ-3-1 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (n=18)

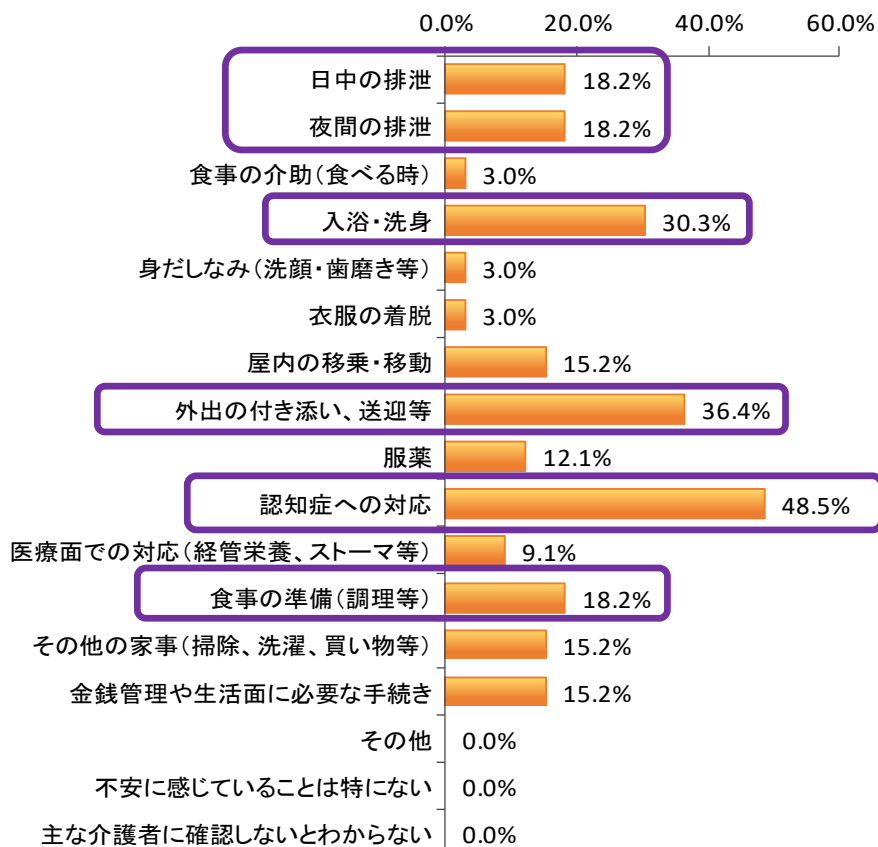


(3) 在宅生活の継続に向けて

① 主な介護者が不安に感じる介護

現在の生活を維持していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、「認知症への対応」が48.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が36.4%、「入浴・洗身」が30.3%、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の準備（調理等）」がともに18.2%となります。

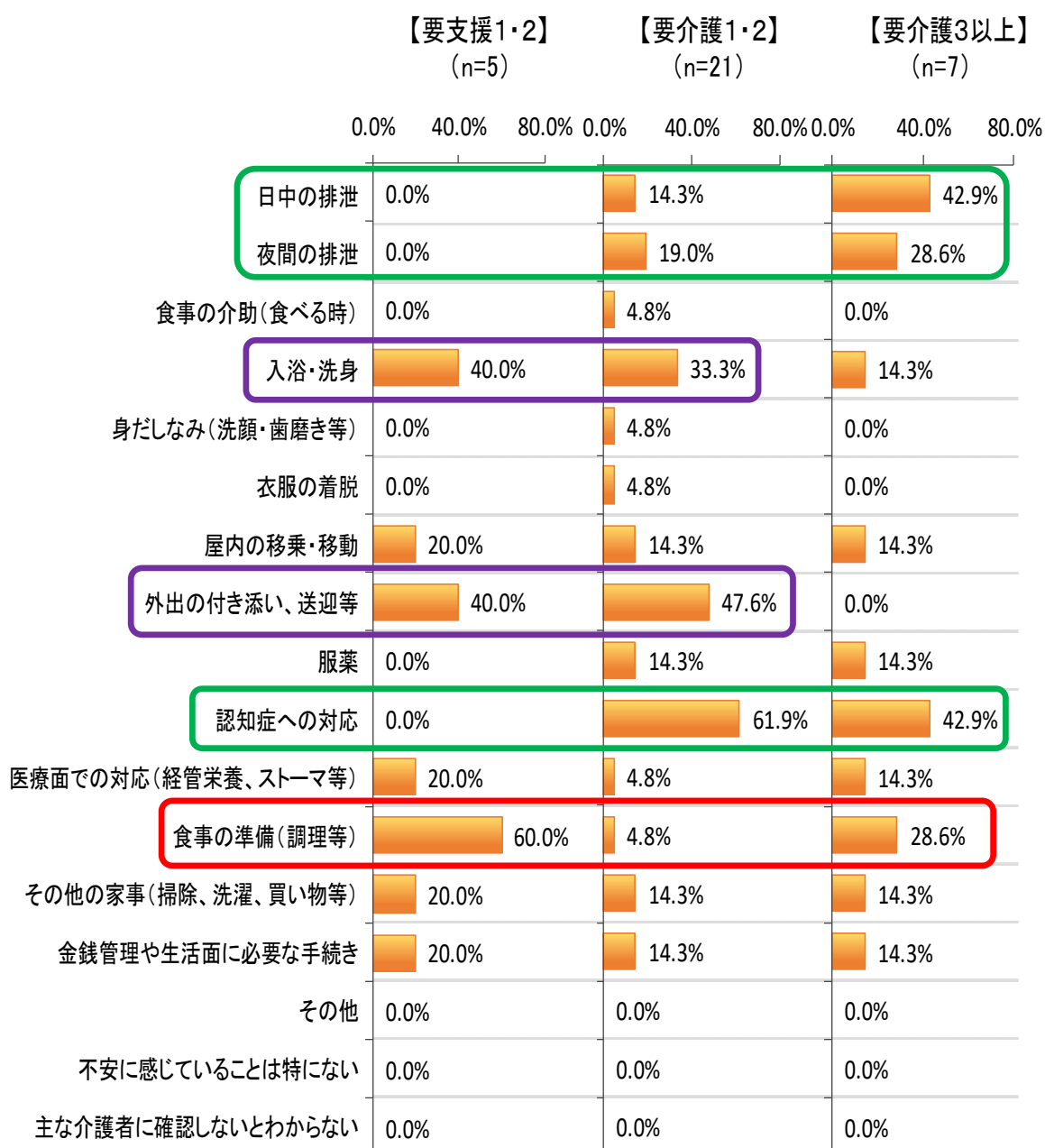
図表Ⅲ-4-1 在宅生活の継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護【3つまでの複数回答】 (n=33)



② 主な介護者が不安に感じる介護（要介護度別）

主な介護者の方が不安に感じる介護等について要介護度別に見ると、「要支援1・2」では、「食事の準備（調理等）」が60.0%と最も高く、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」がともに40.0%となります。「要介護1・2」では、「認知症への対応」が61.9%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が47.6%、「入浴・洗身」が33.3%、「夜間の排泄」が19.0%となっている。「要介護3以上」では、「日中の排泄」「認知症への対応」がともに42.9%と最も高く、次いで「夜間の排泄」「食事の準備（調理等）」が28.6%となっている。

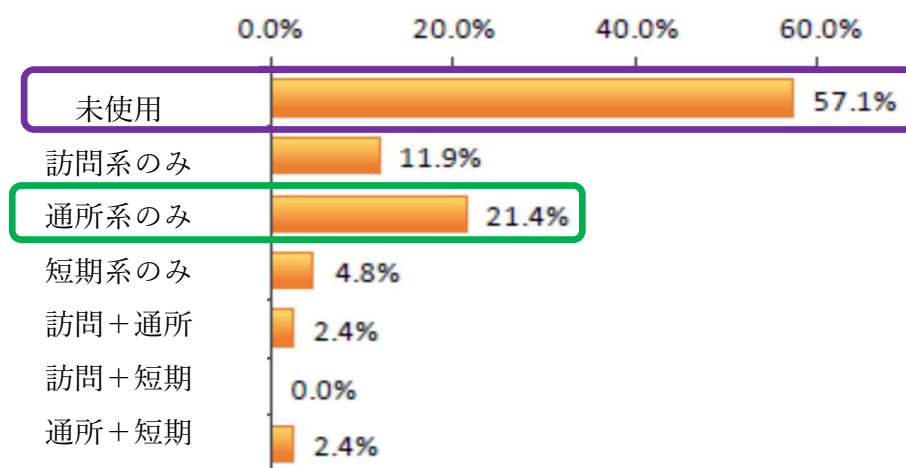
図表Ⅲ-4-2 在宅生活の継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護（要介護度別）【3つまでの複数回答】



(4) サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせについて、「未利用」の割合が最も高く57.1%、「通所系のみ」が21.4%、「訪問系のみ」が11.9%、「短期系のみ」が4.8%となります。

図表IV-6-1 サービス利用の組み合わせ (n=42)



サービスの利用の組み合わせを二次判定結果（要介護度）別に見ると、「要支援1・2」は「未利用」が88.9%となります。「要介護1・2」は「未利用」が47.8%、「訪問系のみ」が13.0%、「通所系・短期系のみ」が39.1%、「要介護3以上」は「未利用」が50.0%、「訪問系のみ」が10.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が10.0%、「通所系・短期系のみ」が30.0%となります。

図表IV-6-2 サービス利用の組み合わせ (要介護度別)

